

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-157641

(43)Date of publication of application : 13.06.2000

(51)Int.Cl.

A62C 35/02

A62C 31/12

A62C 35/68

B05B 9/04

(21)Application number : 10-334250

(71)Applicant : NOHMI BOSAI LTD

(22)Date of filing : 25.11.1998

(72)Inventor : YOSHIBA YUKIO  
TATENO YUKIO

## (54) FOG FIRE EXTINGUISHING METHOD AND DEVICE

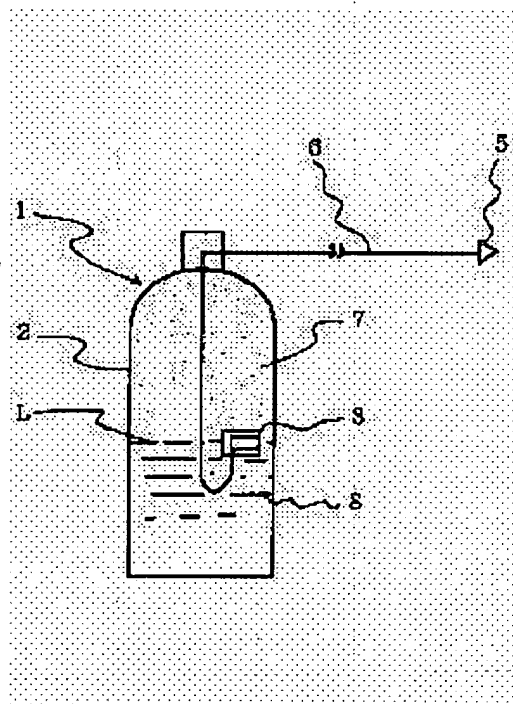
### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a fire extinguish liquid reach a fire source in the form of fog by enclosing a fire extinguishing liquid and pressurized gas, and alternately spraying both from a fog nozzle.

SOLUTION: Pressurized gas 7 and a fire extinguishing liquid 8 are enclosed in a pressure container 2, and a selector float 3 is provided as a fluid selector means for alternately supplying the fire extinguishing liquid 8 and the pressurized gas 7 to a fog nozzle 5.

When a fire occurs, one opening the valve of a nozzle hose 6, the fire extinguishing liquid 8 is sprayed through the nozzle hose 6 from the fog nozzle 5 by pressure of the pressurized gas 7. By such spraying, the liquid level L is disturbed so that the state where only the fire extinguishing liquid 8 or the pressurized gas 7 is sucked from a fluid suction port is repeated in a short cycle. Accordingly, short cycle injection of pressurized gas 7 only occurs, so that injection is repeated

in irregular cycle in the order of the fire extinguishing liquid 8 → the pressurized gas 7 → the fire extinguishing liquid 8. Thus, the fog of the fire extinguishing liquid 8 can be forced to reach a fire source by the pressurized gas 7.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

16.06.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the

examiner's decision of rejection or application

converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-157641

(P2000-157641A)

(43) 公開日 平成12年6月13日 (2000.6.13)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	キーワード (参考)
A 6 2 C 35/02		A 6 2 C 35/02	A 2 E 1 8 9
	31/12	31/12	4 F 0 3 3
	35/68	35/68	
B 0 5 B 9/04		B 0 5 B 9/04	

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-334250

(22) 出願日 平成10年11月25日 (1998.11.25)

(71) 出願人 000233826

能美防災株式会社

東京都千代田区九段南4丁目7番3号

(72) 発明者 吉森 裕毅雄

東京都千代田区九段南4丁目7番3号 能

美防災株式会社内

(72) 発明者 館野 幸雄

東京都千代田区九段南4丁目7番3号 能

美防災株式会社内

(74) 代理人 100061284

弁理士 斎藤 伸 (外2名)

Fターム (参考) 2E189 B005 B007 B008 B010 B008

K004

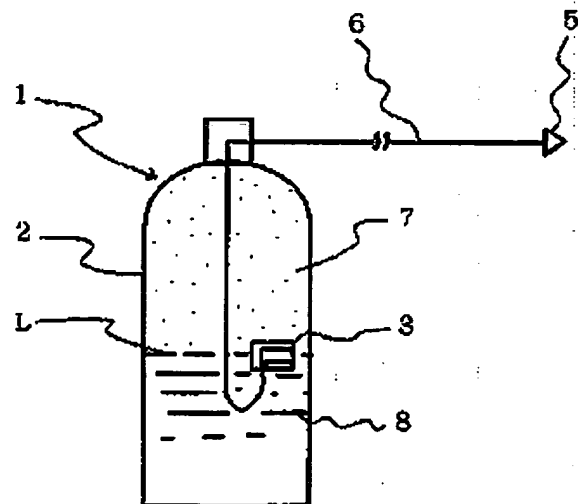
4F033 B004 B020 B008 B003

(54) 【発明の名称】 フォグ消火方法及びその装置

(57) 【要約】

【課題】霧状の消火液が火源に到達できる様にするとともに、配管設備コストの低減化を図る。

【解決手段】加圧容器2内に消火液8と加圧気体7とが封入され、該消火液8と加圧気体7とが交互にフォグノズル5から噴霧される。



(2)

特開2000-157641

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 圧力容器内の消火液をフォグノズルから噴出せしめるフォグ消火方法であって、該圧力容器に消火液と加圧気体とが封入され、

該消火液と加圧気体とが交互に前記フォグノズルから噴霧されることを特徴とすることを特徴とするフォグ消火方法。

【請求項2】 噴霧される加圧気体が、消火液を含んでいることを特徴とする請求項1記載のフォグ消火方法。

【請求項3】 圧力容器に消火液と加圧気体とを封入し、該加圧容器をフォグノズルに連通せしめたフォグ消火装置であって、前記消火液と加圧気体とを交互にフォグノズルに供給するための流体切替手段を設けたことを特徴とする噴霧消火装置。

【請求項4】 流体切替手段は、圧力容器内に設けられ、かつ、流体吸込口を有する流体切替フロートと、一端が該フロートの流体吸込口に連通し、かつ、他端がフォグノズルに接続されているノズルホースと、からなることを特徴とする請求項3記載の噴霧消火装置。

【請求項5】 流体切替手段は、一端が圧力容器内の液体室内に位置し、かつ、他端がフォグノズルに接続されたノズルホースと、圧力容器の気体室内のノズルホースに設けられた自動開閉バルブと、からなることを特徴とする請求項3記載の噴霧消火装置。

【請求項6】 前記消火液と前記加圧気体が、各々別の圧力容器に封入されていることを特徴とする請求項3記載のフォグ消火装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、フォグ消火方法及びその装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 フォグ消火方法は、消火液を霧状にして放射し消火する方法であるが、この消火方法には次の利点がある。

(1)同じ水量で比較すると粒子径の小さい方が表面積が大きいので、吸熱面積も大きくなり冷却効率が良い。

【0003】 (2)粒子径の小さい方が蒸発しやすい分、気化熱による大きな冷却効果が期待できる。また、水蒸気が大量に発生し窒息効果が期待できる。

【0004】 従来のフォグ消火装置は液体だけを用いる1流体タイプと、ノズル内で液体と気体を混合してミストとして外へ放出する2流体タイプと、がある。1流体タイプは配管が1系統だけで良く設備上複雑にならないが、粒子の運動エネルギーが小さいため炎の上昇気流等にあおられて火源に到達しにくい。又、2流体タイプは粒子の移動速度が速いため、粒子の運動エネルギーが大きく、1流体タイプよりも火源に到達しやすいが、配管

2

液が火源に到達できる様にするとともに、配管設備コストの低減化を図ることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この発明は、圧力容器の消火液をフォグノズルから噴出せしめるフォグ消火方法であって、該圧力容器内に消火液と加圧気体とが封入され、該消火液と加圧気体とが交互に前記フォグノズルから噴霧されることを特徴とする。

【0007】 この発明は、圧力容器に消火液と加圧気体とを封入し、該加圧容器をフォグノズルに連通せしめたフォグ消火装置であって、前記消火液と加圧気体とを交互にフォグノズルに供給するための流体切替手段を設けたことを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】 本発明者は、前記一流体タイプと前記二流体タイプのフォグ消火方法は、それぞれ前述の様な利点を備えていることに鑑み、この両方の利点を生かせる消火方法を研究した。その結果、フォグノズルに消火液と加圧気体とを交互に供給し、それらを交互に噴霧すれば良いことがわかった。

【0009】 即ち、消火液のみを噴霧すると、消火液はノズル近傍に霧状となって漂うが、次に噴出される消火液より速度の速い加圧気体に巻き込まれて火源に向かう。そのため、霧の粒子と炎表面で発生した水蒸気が火源へ到達するとともに、炎源は吹き消し作用も受けることになる。

【0010】 なお、消火液と加圧気体とを交互にフォグノズルに供給する代わりに、消火液と、加圧気体に消火液が混入された混合流体とを交互にフォグノズルに供給し、噴霧しても良い。

【0011】

【実施例】 この発明の実施例を図1～図3により説明する。フォグ消火装置1は、圧力容器2と該圧力容器2内の液面1上に浮上する流体切替フロート3と、該切替フロート3とフォグノズル5とを連結するノズルホース6と、を備えている。

【0012】 圧力容器2には、加圧気体7と消火液8とが封入されている。この加圧気体7として、例えば、CO<sub>2</sub>やN<sub>2</sub>が用いられ、又、消火液として、例えば、消火水や水成膜泡消火薬剤としてのライトウオータ（商品名）が用いられる。また、加圧気体と消火液は周期的に交互に供給するのが好ましいが、必ずしもその必要はない。

【0013】 切替フロート3は、消火液8と加圧気体7とを交互にフォグノズル5に供給する流体切替手段である。このフロート3は、断面形状の本体3aと、軸心3cに平行な流体吹込口3bと、該流体吹込口3bと直交し、かつ、ノズルホース6が接続される連結口3d

(3)

特開2000-157641

3

【0014】 Fogノズル5は周知のものが用いられるが、例えば、Fogの粒径を10～300 $\mu$ m位にできるものが選択される。

【0015】 次に、本実施例の作動について説明する。火災発生時に、例えばノズルホース6に設けられた図示しないバルブを開放すると、加圧気体7に押圧されている消火液8は、ノズルホース6を運ってFogノズル5から噴霧される。

【0016】 該ノズル5から消火液8が噴霧されると、液面しが乱れ、流体吹込口3りからは消火液8又は加圧気体7だけ吸い込まれる状態が短周期に繰り返される。この周期は必ずしも一定の周期とは限らない。

【0017】 そうすると、Fogノズル5には、消火液8→加圧気体7→消火液8の順で繰り返し供給されるので、Fogのみ→Fogと気体→Fogのみの順で繰り返し噴霧される。

【0018】 消火液8がFogノズル5から噴霧されると、FogFとなって飛散するが、このFogFは速度が遅いのでFogノズル5の近傍に漂い、Fog領域10を形成する。

【0019】 次に、加圧気体7がFogノズル5から噴霧されると、FogFよりも速度の速い加圧気体7が、Fog領域10内のFogFを巻き込んで搬送するので、FogFの粒子と炎H表面で発生した水蒸気が火源12へ到達する。この時、加圧気体7の速い流れにより風が発生し、炎Hを吹く様にするので、該炎Hは鎮滅で示す様になり、所謂吹き消し効果も発生する。

【0020】 この発明の第2実施例を図4により説明する。この実施例と第1実施例との相違点は、流体切換手段として自動開閉バルブ20が用いられることである。このバルブ20は、圧力容器2の気体室21内に設けられており、開弁すると気体室21内の加圧気体7がノズルホース6に供給され、閉弁すると消火液8がノズルホース6に供給される。このバルブ20はFog消火装置1の外部に設けられた図示しない自動開閉制御スイッチとP電気的に接続されており、該バルブ20はこのスイッチをオンスすることにより開き、該スイッチをオフにすることにより閉じる。

\*

4

\*【0021】 この発明の第3実施例を図5により説明する。この実施例と第2実施例との相違点は、自動開閉バルブ25を圧力容器2内に設けるかわりに、該圧力容器2の外側に設けたことである。

【0022】 この発明の第4実施例を図6により説明する。この実施例と第1実施例との相違点は、圧力容器2の他に加圧気体を封入した容器30を設け、両容器2、30を三方切換弁31を介してノズルホース6に連結し、該三方切換弁31をモータなどで制御して、Fogと圧力気体とを交互に放出するようにしたことである。

【0023】 この発明の実施例は上記に限定されるものではなく、例えば、流体切換手段は消火液と加圧気体とを交互にノズルホースに供給できるものであれば良い。又、FogノズルからFog→Fog及び加圧気体→Fogの順で繰り返し噴霧する代わりに、Fog→加圧気体→Fogの順で繰り返し噴霧する様にしてもよい。

【0024】

【発明の効果】 この発明は、以上の様に構成したので、Fogノズル近傍に漂っているFogは、速度の速い加圧気体に巻き込まれて搬送される。そのため、Fogを火源に到達させることができるので、従来例に比べ消火効率の向上を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1実施例を示す縦断面図である。

【図2】 流体切換フロートの拡大断面図である。

【図3】 消火状況を示す図である。

【図4】 本発明の第2実施例を示す縦断面図である。

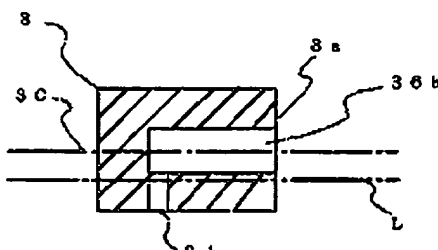
【図5】 本発明の第3実施例を示す縦断面図である。

【図6】 本発明の第4実施例を示す縦断面図である。

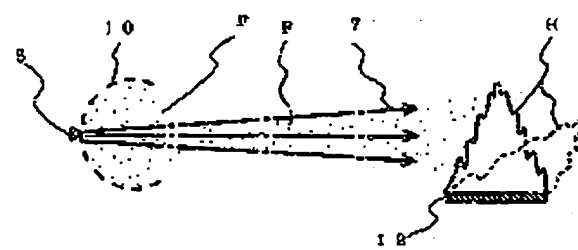
【符号の説明】

- |   |          |
|---|----------|
| 1 | Fog消火装置  |
| 2 | 圧力容器     |
| 3 | 流体切換フロート |
| 5 | Fogノズル   |
| 6 | ノズルホース   |
| 7 | 加圧気体     |
| 8 | 消火液      |

【図2】



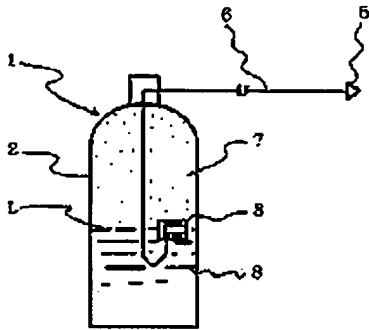
【図3】



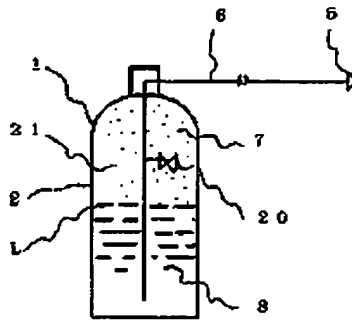
(4)

特開2000-157641

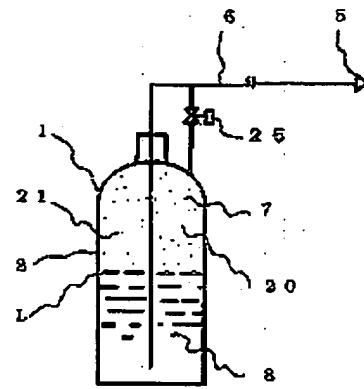
【図1】



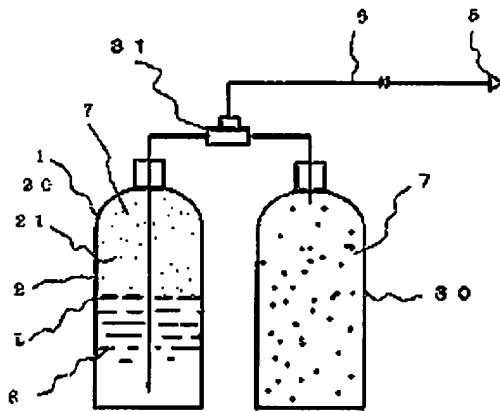
【図4】



【図5】



【図6】



\* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

CLAIMS

---

[Claim(s)]

[Claim 1] The fog fire-extinguishing approach characterized by being characterized by being the fog fire-extinguishing approach of being able to blow off from a fog nozzle and closing the fire-extinguishing liquid in a pressurized container, enclosing fire-extinguishing liquid and a pressurization gas with; this pressurized container, and spraying this fire-extinguishing liquid and a pressurization gas from said fog nozzle by turns.

[Claim 2] The fog fire-extinguishing approach according to claim 1 that the pressurization gas sprayed is characterized by including fire-extinguishing liquid.

[Claim 3] The spraying fire extinguisher system which is a fog fire extinguisher system which fire-extinguishing liquid and a pressurization gas were enclosed [ fire extinguisher system ] with the pressurized container, and made the fog nozzle open this pressurization container for free passage, and is characterized by establishing the fluid means for switching for supplying the; aforementioned fire-extinguishing liquid and a pressurization gas to a fog nozzle by turns.

[Claim 4] the nozzle hose by which the fluid change float which a fluid means for switching is established in a pressurized container, and has fluid inlet port, and an end are open for free passage to the fluid inlet port of this float, and the other end is connected to the fog nozzle -- since -- the spraying fire extinguisher system according to claim 3 characterized by becoming.

[Claim 5] the automatic closing motion bulb by which the fluid means for switching was prepared in the nozzle hose by which the end was located in the liquid interior of a room in a pressurized container, and the other end was connected to the fog nozzle, and the nozzle hose of the gas interior of a room of a pressurized container -- since -- the spraying fire extinguisher system according to claim 3 characterized by becoming.

[Claim 6] The fog fire extinguisher system according to claim 3 to which said fire-extinguishing liquid and said pressurization gas are characterized by being respectively enclosed with another pressurized container.

---

[Translation done.]

## \* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

DETAILED DESCRIPTION

---

## [Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] This invention relates to the fog fire-extinguishing approach and its equipment.

[0002]

[Description of the Prior Art] Although the fog fire-extinguishing approach is the approach of making fire-extinguishing liquid the shape of a fog, emitting it, and extinguishing the fire, there is the following advantage in this fire-extinguishing approach.

(1) When the same amount of water compares, since surface area is large, the one where particle diameter is smaller becomes large, and endoergic area also has good cooling effectiveness.

[0003] (2) The big cooling effect by the part and heat of vaporization with which the one where particle diameter is smaller tends to evaporate is expectable. Moreover, a steam is generated in large quantities and the suffocation effectiveness can be expected.

[0004] The conventional fog fire extinguisher system is [ 1 fluid type which uses only a liquid, 2 fluid type which mixes a liquid and a gas within a nozzle and is emitted outside as Mist, and ] \*\*\*\*\*. Although piping requires only one line and does not become complicated on a facility, since the kinetic energy of a particle is small, 1 fluid type is instigated by the ascending air current of flame etc., and cannot reach a fire source easily. Moreover, since 2 fluid type has the quick passing speed of a particle, the kinetic energy of a particle is large and tends to reach a fire source rather than 1 fluid type, but since two piping is required, it becomes a comparatively high-priced facility.

[0005] This invention aims at attaining reduction-ization of piping installation cost while fog-like fire-extinguishing liquid enables it to reach a fire source in view of the above-mentioned situation.

[0006]

[Means for Solving the Problem] This invention is the fog fire-extinguishing approach of being able to blow off from a fog nozzle and closing the fire-extinguishing liquid of a pressurized container, and is characterized by enclosing fire-extinguishing liquid and a pressurization gas and spraying this fire-extinguishing liquid and a pressurization gas from said fog nozzle by turns into; this pressurized container.

[0007] This invention encloses fire-extinguishing liquid and a pressurization gas with a pressurized container, is the fog fire extinguisher system which made the fog nozzle open this pressurization container for free passage, and is characterized by establishing the fluid means for switching for supplying the; aforementioned fire-extinguishing liquid and a pressurization gas to a fog nozzle by turns.

[0008]

[Embodiment of the Invention] this invention person studied the fire-extinguishing approach that the advantage of these both could be employed efficiently, in view of said first-class object type and said two-phase flow type of the fog fire-extinguishing approach being equipped with the respectively above advantages. Consequently, it turned out that what is necessary is to supply fire-extinguishing liquid and a pressurization gas to a fog nozzle by turns, and just to spray them by turns.

[0009] That is, if only fire-extinguishing liquid is sprayed, although fire-extinguishing liquid becomes fog-like and drifts near the nozzle, from the fire-extinguishing liquid which blows off next, it will be involved in the quick pressurization gas of a rate, and will go to a fire source. Therefore, while the steam generated on a misty particle and a misty flame front face reaches to a fire source, \*\*\*\* will blow out and will also receive an operation.

[0010] In addition, fire-extinguishing liquid and the interflow object with which fire-extinguishing liquid was mixed in the pressurization gas may be supplied and sprayed on a fog nozzle by turns instead of supplying fire-extinguishing liquid and a pressurization gas to a fog nozzle by turns.



[0011]

[Example] Drawing 1 - drawing 3 explain the example of this invention. The fog fire extinguisher system 1 is equipped with the nozzle hose 6 which connects the fluid change-over float 3 which surfaces on the oil level L in a pressurized container 2 and this pressurized container 2, this change-over float 3, and the fog nozzle 5.

[0012] The pressurization gas 7 and fire-extinguishing liquid 8 are enclosed with the pressurized container 2. As this pressurization gas 7, CO<sub>2</sub> and N<sub>2</sub> are used and the light water (trade name) as for example, fire-extinguishing water or aqueous-film-forming-foam fire-extinguishing drugs is used as fire-extinguishing liquid. Moreover, although supplying by turns periodically is desirable as for a pressurization gas and fire-extinguishing liquid, the need does not necessarily exist.

[0013] The change-over float 3 is a fluid means for switching which supplies fire-extinguishing liquid 8 and the pressurization gas 7 to the fog nozzle 5 by turns. 3d of connection openings to which cross-section rectangle-like body 3a, fluid blowing-in opening 3b parallel to axial center 3c, this fluid blowing-in opening 3b, and this float 3 cross at right angles, and the nozzle hose 6 is connected -- since -- it is constituted. The magnitude of this fluid blowing-in opening 3b and 3d of connection openings, a configuration, etc. are chosen suitably if needed.

[0014] That to which particle size of fog is made as for the fog nozzle 5 to about 10-300 micrometers, for example although a well-known thing is used is chosen.

[0015] Next, actuation of this example is explained. At the time of the outbreak of a fire, disconnection of the bulb which was prepared in the nozzle hose 6 and which is not illustrated sprays the fire-extinguishing liquid 8 currently pressed by the pressurization gas 7 from the fog nozzle 5 through the nozzle hose 6.

[0016] If fire-extinguishing liquid 8 is sprayed from this nozzle 5, the condition that only fire-extinguishing liquid 8 or the pressurization gas 7 is inhaled for an oil level L from turbulence and fluid blowing-in opening 3b will be repeated by the short period. This period is not necessarily a fixed period.

[0017] If it does so, since the fog nozzle 5 will be repeatedly supplied in order of fire-extinguishing liquid 8 -> pressurization gas 7 -> fire-extinguishing liquid 8, only fog is repeatedly sprayed only in order of -> fog and gas -> fog.

[0018] Although it will become Fog F and will disperse if fire-extinguishing liquid 8 is sprayed from the fog nozzle 5, since the rate is slow, this fog F drifts near the fog nozzle 5, and forms the fog field 10.

[0019] Next, if the pressurization gas 7 is sprayed from the fog nozzle 5, since the quick pressurization gas 7 of a rate will involve in and convey the fog F in the fog field 10 from Fog F, the steam generated on the particle and flame H front face of Fog F reaches to a fire source 12. Since a wind occurs by the quick flow of the pressurization gas 7 and it is made to play Flame H at this time, the chain line comes to show this flame H, and it also generates the so-called blowout effectiveness.

[0020] Drawing 4 explains the 2nd example of this invention. The difference of this example and 1st example is that the automatic closing motion bulb 20 is used as a fluid means for switching. This bulb 20 is formed in the gas room 21 of a pressurized container 2, and if it opens, and the pressurization gas 7 in the gas room 21 will be supplied to the nozzle hose 6 and will close the valve, fire-extinguishing liquid 8 will be supplied to the nozzle hose 6. It connects with the automatic closing motion control switch and P electrical-and-electric-equipment target which were prepared in the exterior of the fog fire extinguisher system 1 and which do not illustrate, and this bulb 20 gets down, opens this bulb 20 by O [ this switch ], and is closed by turning OFF this switch.

[0021] Drawing 5 explains the 3rd example of this invention. The difference of this example and 2nd example is having prepared in the outside of this pressurized container 2 instead of forming the automatic closing motion bulb 25 in a pressurized container 2.

[0022] Drawing 6 explains the 4th example of this invention. The difference of this example and 1st example is forming the container 30 which enclosed the pressurization gas other than a pressurized container 2, connecting both the containers 2 and 30 with the nozzle hose 6 through the Mikata change-over valve 31, controlling this Mikata change-over valve 31 by a motor etc., and having made it emit fog and a pressure gas by turns.

[0023] The example of this invention is not limited above and a fluid means for switching just supplies fire-extinguishing liquid and a pressurization gas to a nozzle hose by turns. Moreover, you may make it spray repeatedly in order of fog -> pressurization gas -> fog instead of spraying repeatedly in order of fog -> fog and pressurization gas -> fog from a fog nozzle.

[0024]

[Effect of the Invention] Since this invention was constituted as mentioned above, the fog which is drifting near the fog nozzle is involved in the quick pressurization gas of a rate, and is conveyed. Therefore, since fog can be made to reach a fire source, improvement in fire-extinguishing effectiveness can be aimed at compared with the conventional

## \* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

EXAMPLE

---

[Example] Drawing 1 - drawing 3 explain the example of this invention. The fog fire extinguisher system 1 is equipped with the nozzle hose 6 which connects the fluid change-over float 3 which surfaces on the oil level L in a pressurized container 2 and this pressurized container 2, this change-over float 3, and the fog nozzle 5.

[0012] The pressurization gas 7 and fire-extinguishing liquid 8 are enclosed with the pressurized container 2. As this pressurization gas 7, CO2 and N2 are used and the light water (trade name) as for example, fire-extinguishing water or aqueous-film-forming-foam fire-extinguishing drugs is used as fire-extinguishing liquid. Moreover, although supplying by turns periodically is desirable as for a pressurization gas and fire-extinguishing liquid, the need does not not necessarily exist.

[0013] The change-over float 3 is a fluid means for switching which supplies fire-extinguishing liquid 8 and the pressurization gas 7 to the fog nozzle 5 by turns. 3d of connection openings to which cross-section rectangle-like body 3a, fluid blowing-in opening 3b parallel to axial center 3c, this fluid blowing-in opening 3b, and this float 3 cross at right angles, and the nozzle hose 6 is connected -- since -- it is constituted. The magnitude of this fluid blowing-in opening 3b and 3d of connection openings, a configuration, etc. are chosen suitably if needed.

[0014] That to which particle size of fog is made as for the fog nozzle 5 to about 10-300 micrometers, for example although a well-known thing is used is chosen.

[0015] Next, actuation of this example is explained. At the time of the outbreak of a fire, disconnection of the bulb which was prepared in the nozzle hose 6 and which is not illustrated sprays the fire-extinguishing liquid 8 currently pressed by the pressurization gas 7 from the fog nozzle 5 through the nozzle hose 6.

[0016] If fire-extinguishing liquid 8 is sprayed from this nozzle 5, the condition that only fire-extinguishing liquid 8 or the pressurization gas 7 is inhaled for an oil level L from turbulence and fluid blowing-in opening 3b will be repeated by the short period. This period is not not necessarily a fixed period.

[0017] If it does so, since the fog nozzle 5 will be repeatedly supplied in order of fire-extinguishing liquid 8 -> pressurization gas 7 -> fire-extinguishing liquid 8, only fog is repeatedly sprayed only in order of -> fog and gas -> fog.

[0018] Although it will become Fog F and will disperse if fire-extinguishing liquid 8 is sprayed from the fog nozzle 5, since the rate is slow, this fog F drifts near the fog nozzle 5, and forms the fog field 10.

[0019] Next, if the pressurization gas 7 is sprayed from the fog nozzle 5, since the quick pressurization gas 7 of a rate will involve in and convey the fog F in the fog field 10 from Fog F, the steam generated on the particle and flame H front face of Fog F reaches to a fire source 12. Since a wind occurs by the quick flow of the pressurization gas 7 and it is made to play Flame H at this time, the chain line comes to show this flame H, and it also generates the so-called blowout effectiveness.

[0020] Drawing 4 explains the 2nd example of this invention. The difference of this example and 1st example is that the automatic closing motion bulb 20 is used as a fluid means for switching. This bulb 20 is formed in the gas room 21 of a pressurized container 2, and if it opens, and the pressurization gas 7 in the gas room 21 will be supplied to the nozzle hose 6 and will close the valve, fire-extinguishing liquid 8 will be supplied to the nozzle hose 6. It connects with the automatic closing motion control switch and P electrical-and-electric-equipment target which were prepared in the exterior of the fog fire extinguisher system 1 and which do not illustrate, and this bulb 20 gets down, opens this bulb 20 by O [ this switch ], and is closed by turning OFF this switch.

[0021] Drawing 5 explains the 3rd example of this invention. The difference of this example and 2nd example is having prepared in the outside of this pressurized container 2 instead of forming the automatic closing motion bulb 25 in a pressurized container 2.

[0022] Drawing 6 explains the 4th example of this invention. The difference of this example and 1st example is

forming the container 30 which enclosed the pressurization gas other than a pressurized container 2, connecting both the containers 2 and 30 with the nozzle hose 6 through the Mikata change-over valve 31, controlling this Mikata change-over valve 31 by a motor etc., and having made it emit fog and a pressure gas by turns.

[0023] The example of this invention is not limited above and a fluid means for switching just supplies fire-extinguishing liquid and a pressurization gas to a nozzle hose by turns. Moreover, you may make it spray repeatedly in order of fog -> pressurization gas -> fog instead of spraying repeatedly in order of fog -> fog and pressurization gas -> fog from a fog nozzle.

---

[Translation done.]

\* NOTICES \*

JPO and NCIPi are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

DESCRIPTION OF DRAWINGS

---

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] It is drawing of longitudinal section showing the 1st example of this invention.

[Drawing 2] It is the expanded sectional view of a fluid change-over float.

[Drawing 3] It is drawing showing a fire-extinguishing situation.

[Drawing 4] It is drawing of longitudinal section showing the 2nd example of this invention.

[Drawing 5] It is drawing of longitudinal section showing the 3rd example of this invention.

[Drawing 6] It is drawing of longitudinal section showing the 4th example of this invention.

[Description of Notations]

1 Fog Fire Extinguisher System

2 Pressurized Container

3 Fluid Change-over Float

5 Fog Nozzle

6 Nozzle Hose

7 Pressurization Gas

8 Fire-Extinguishing Liquid

---

[Translation done.]